

会 議 録

1 会議名

第3回浦川原区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1)報告（公開）

ア 会長報告

（報告なし）

イ 委員報告

（報告なし）

ウ 市からの報告

・サウンディング型市場調査について

・令和元年度浦川原区地域活動支援事業の追加募集状況について

(2)協議（公開）

ア 地域協議会と中学生との意見交換会の実施について

(3)その他（公開）

ア 次回の開催日時等について

3 開催日時

令和元年6月19日（水）午後6時30分から午後7時00分まで

4 開催場所

浦川原コミュニティプラザ 4階 市民活動室4・5

5 傍聴人の数

3人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委 員：五十嵐広美副会長、市村一雄、杉田和久、福井克利、藤田宏禎会長、前島邦子、
村松清、村松進副会長、和栗恵子

・事務局：浦川原区総合事務所大坪所長、長谷川次長、総務・地域振興グループ山崎グループ長、産業グループ田中グループ長、建設グループ渡辺グループ長、市民生活・福祉グループ五井野グループ長、太田上席保健師長、教育・文化グループ

山崎グループ長、産業グループ柳澤班長、総務・地域振興グループ宮川班長、
青木主事

8 発言の内容

【藤田会長】

- ・会議の開会を宣言。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上が出席しているので、会議が成立する旨を報告。
- ・出席者は9人。欠席委員は池田幸博委員、金子百合江委員、西山康博委員。
- ・会議録の確認：和栗恵子委員に依頼。

【藤田会長】

次第の「2報告」に入る。「(1)会長報告」だが、本日は持ち合わせていない。次に「(2)委員報告」に入る。委員の皆さんから何か報告事項はないか。

(会場より「なし。」の声)

次に「(3)市からの報告」で「①サウンディング型市場調査について」説明いただく。

【産業グループ田中グループ長】

(当日追加資料に沿って説明。)

【藤田会長】

委員の皆さんより質疑等を受ける。

今回、市場調査の範囲は全国にという説明であったが間違いないか。

【産業グループ田中グループ長】

インターネット等で全国的に公募を行う。施設に興味を示す民間業者から公募を受ける調査である。

【藤田会長】

サウンディング型市場調査は、平成29年度にも実施しており、その結果を踏まえて再度実施するということであるが、前回との変更点はあるか。

【大坪所長】

前回は浦川原区地域協議会とのお話の中で、広く公募するといった約束があった。当時は温浴施設である霧ヶ岳温泉ゆあみに限定し、主に新潟県内の金融機関を窓口として市場調査を行った。今回は上越市全体の施設を対象とし、全国に市場調査を実施する。今回、霧ヶ岳温泉ゆあみも対象としており、さらに広い視野で提案事業者を募ることが大きな違いである。

【藤田会長】

他にご意見はないか。

【杉田委員】

上越市内の12施設を対象に全国に募集を行うということだが、12施設もあることで、霧ヶ岳温泉ゆあみが他の施設に埋もれ目立たないのではないかと感じる。浦川原区として何かアピールする考えはあるか。

【大坪所長】

サウンディング型とは「対話型」である。市場からどのような評価をしていただき、「こういった使い方をする。」という提案をいただくだけでなく、施設の利活用を公に募集するものである。

12の施設があり、埋没するかしらないかは不明だが、多くから注目を集め、興味を示してもらおうチャンスだと考えている。市としても市場からどのような評価があるのか、その先の考えを整理していくうえで重要な取組みだと考えている。

【杉田委員】

賛否を問うものではなく、競争相手がたくさんいるように感じられて、目立たないのではないかと心配したため発言させていただいた。良い方向へ行けば良いと思う。

【大坪所長】

最終的に調査結果を踏まえ、市として施設の今後の方向性を判断することになる。結果的に良い方向へ行く場合もあれば、厳しい方向へ向かうことも想定されるが、我々も何か提案があることを願っている。また、我々が独自に動いた金融機関にも再度、情報収集等を行い、取り上げていただけるよう努力していかなければならないと考えている。

【藤田会長】

現在、全国の市町村でもこのような問題は抱えていると考える。以前に浦川原区でこのサウンディング型市場調査を行い、金融機関を通して募集を行ったが、あくまでもこの霧ヶ岳温泉ゆあみは、浦川原区の中心施設として進めてきた。地元として議論が活発化していないものを全国が拾い上げてくれるかどうか疑問である。

また、地域協議会として、これから自主的に審議を行おうとしたタイミングでこの報告があり、実際、応募がなかった場合に地域協議会としてどう対応していくか、7月から自主的に審議を行う予定としているが、その結果等はサウンディング型市場調査に反映されるのかお聞きしたい。

【大坪所長】

今回、霧ヶ岳温泉ゆあみだけではなく、市内の12施設を選考している。市としては、この温浴施設を同じ考え方で取組んでいるものである。

霧ヶ岳温泉ゆあみは、浦川原区だけでなく市全体の大きな行政課題と認識している。現在まで様々な協議を行った中で、良い方向性を見いだせていないということが現状である。

以前に申し上げたが、市が霧ヶ岳温泉ゆあみを改めて運営することは無いことは、委員の皆さんからご理解いただいている。市ではないところから興味を示していただき、運営していただくことで委員の皆さんと考え方は一致している。その担い手に受けていただけるように、こういった手法を使い募集をし、その結果を踏まえ、市として施設の方向性を整理し、委員の皆さんへお示ししなければならないと考えている。

地域協議会の皆さんが自主的審議の議題に霧ヶ岳温泉ゆあみが上がっていることは承知している。タイミング的に重なってしまったが、委員の皆さんの自主的審議のことがあったから、この動きが出てきたわけではない。その結果を踏まえてどうするかということも委員の皆さんの判断材料になるのではないかと考える。

【藤田会長】

他にご意見はないか。

(会場内から「なし。」の声)

次に「②令和元年度浦川原区地域活動支援事業の使い募集状況について」説明いただく。

【総務・地域振興グループ山崎グループ長】

(当日配布資料に沿って説明。)

【藤田会長】

委員の皆さんより質疑等受ける。

(会場内から「なし。」の声)

それでは、6月28日を締め切りとして、7月の地域協議会で審議を行うことでお願いする。

次に「3 協議」の「(1)地域協議会と中学生との意見交換会の実施について」説明いただく。

【総務・地域振興グループ山崎グループ長】

(資料1に沿って説明。)

【藤田会長】

実行委員4名の選出を行う。皆さんからご提案いただきたいが、現在、実行委員長については村松進副会長であり、要の立場であることから継続していただきたいと考えるが、

委員の皆さんいかがか。

(会場より「はい。」の声)

それでは村松進副会長よろしく願います。

【村松進副会長】

承知した。

【藤田会長】

それでは他の委員は実行委員長である、村松進副会長よりご推薦いただきたい。

【村松進副会長】

昨年に引き続き実行委員長を務めさせていただく。昨年は池田幸博委員、西山康博委員、和栗恵子委員と私の4名であった。今年は男性2名、女性2名でお願いしたい考え、池田幸博委員、五十嵐広美副会長、前島邦子委員からお願いしたいと考える。いかがか。

【五十嵐副会長】

承知した。

【前島委員】

承知した。

【藤田会長】

それぞれお忙しいと思うが、五十嵐副会長、前島委員、よろしく願います。池田委員は本日欠席されているが、どうされるのか。

【村松進副会長】

事前に本人から承諾をいただいている。

【藤田会長】

次に「4 その他」に入る。「(1)次回の開催日時等について」だが、7月24日(水)午後6時30分から、コミュニティプラザ4階の市民活動室4・5で開催したいと考える。地域活動支援事業の追加募集の審査があり、予定していただきたい。よろしいか。

(会場より「はい。」の声)

以上であるが、他に委員の皆さんから何かないか。

なければ、これで第3回地域協議会を閉会する。

9 問合せ先

浦川原区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 025-599-2301 (内線 305)

E-mail : uragawara-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。